

平成22年度 情報システムの改造費用の一部に  
特定再資源化預託金等を充てることについて

次期データセンター運営会社の選定にあたり、信頼性・安定性・効率性を担保する観点及び透明性・公平性の観点によるユーザーへの説明性を確保することから、事前準備を十分にする必要がある。事前準備では、昨今のデータセンター運営動向を取り入れるなど、専門的な知見が必要であることから外部のコンサルタントの支援を受けながら調査・企画・入札等を行うこととし、平成21年度に引き続き『資料3』の考え方にに基づき同情報システムの改造費用の一部に特定再資源化預託金等を充てることといたしたいので、その充当枠について審議をいただきたい。

なお、確定した特定再資源化預託金等からの出えん等額については、平成22年3月に開催される第33回資金管理諮問委員会で審議をお願いする。

1. 平成22年度の事前準備の内容と見込み額

(千円:税込み)

大項目	作業項目	見込み額
入札仕様書等作成	調達計画書の作成	71,400
	調達仕様書の作成	
	提案評価基準の作成	
	予定落札価格試算報告書の作成	
入札実施	調達手続き	
	落札業者選定	

2. 費用按分の考え方と按分額の見込み

情報システムの利用費の考え方は、法人機能毎の処理件数とデータ量、プログラム規模(ステップ数)を組み合わせ、比例配分としている。(按分率は、毎年度変更)

同システムの改造費についても同考え方を踏襲し、次のとおり6法人と按分した費用を見込む。

(千円:税込み)

利用者	按分率	負担額
資金管理法 ①	45.91%	32,779
情報管理センター ②	28.19%	20,127
指定再資源化機関	2号業務 ③	601
	その他	308
(社)自動車再資源化協力機構	12.46%	8,896
TH (ASRチーム)	5.93%	4,234
ART(ASRチーム)	6.24%	4,455
6法人合計	100.0%	71,400

※(社)自動車再資源化協力機構とは、自動車製造業者等の委託を受けフロン類・エアバッグ類の引取窓口を担う仕組みである。

※ASRチームとは、自動車製造業者等のシュレッダーダスト(ASR)のリサイクルを適正、円滑かつ効率的に実施する仕組みである。

### 3. 特定再資源化預託金等からの充当枠について

(千円:税込み)

資金管理法①+情報管理センター②+2号業務③ =

**53,507**

### 4. 今後のスケジュール

平成21年12月8日	第32回 資金管理業務諮問委員会(審議・承認) ・自動車リサイクルの情報システム改造について ・平成22年度 特定再資源化預託金等の充当枠について 他
平成22年 3月	第33回 資金管理業務諮問委員会(審議・承認) 平成22年度 特定再資源化預託金等の出えん等について 他
同年 3月	評議員会同意、理事会議決
同年 3月	主務大臣への平成22年度予算の認可申請、主務大臣認可
同年 5月～	平成22年度 特定再資源化預託金等の出えん等について主務大臣への資金管理業務、情報管理業務等の実施に要する費用への出えん等の承認申請、主務大臣承認

以上